

寺  
ごよみ

十  
月

|       |       |         |       |        |        |      |         |        |       |       |       |       |         |        |       |       |        |      |        |        |
|-------|-------|---------|-------|--------|--------|------|---------|--------|-------|-------|-------|-------|---------|--------|-------|-------|--------|------|--------|--------|
| 三一日   | 三〇日   | 二五日     | 二二日   | 二〇日    | 一九日    | 一七日  | 一六日     | 一三日    | 一二日   | 一一日   | 一〇日   | 九日    | 七日      | 六日     | 五日    | 四日    | 三日     | 二日   | 一日     |        |
| 板屋報恩講 | 板屋報恩講 | 石田中新報恩講 | 板屋報恩講 | 善巧寺報恩講 | 善巧寺報恩講 | 法要準備 | 芦崎飯野報恩講 | ほっこり法座 | 板屋報恩講 | 板屋報恩講 | 上野報恩講 | 上野報恩講 | 東狐上野報恩講 | 富山経田魚津 | 東狐報恩講 | 東狐報恩講 | 富山経田魚津 | 清掃奉仕 | 富山経田魚津 | ほっこり法座 |

寺 報  
善 巧  
ぜん ぎょう

発 行

〒 938-0862 富山県  
黒部市宇奈月町浦山 497  
白雪山 善巧寺  
TEL (0765)65-0055  
FAX (0765)65-0975  
http://www.zengyou.net

報 恩 講  
十月十九日  
十月二十日

親鸞聖人のご法要

午前十時  
午後一時半



善巧寺の銀杏は例年 12 月 1 日がピークです (昨年 11/28 撮影)

前向きにいろんなことに挑戦することは、とても力が必要な分、やりがいや生きがいになり人生を豊かにすると思います。一方で、立ち止まることもとても大事なことです。これまでのことを振り返り、自分自身を見つめて、これから先のことを想像していく。そこにはマニュアルはなく、人それぞれの環境や精神状態によって向き合っていく問題だと思います。

## 向き合う

を通して、自分自身と向き合う時間であったと思います。そこへ百日間通うことを決意して九十五日目に聖徳太子の夢を見ます。その夢を元に、法然聖人の元へ同じく百日間通います。

言葉で言うのは簡単ですが、自らの意思で向き合う百日間は相当な時間だと思います。親鸞聖人にはどのような気持ちの変化が起こったのでしょうか。この時間があったからこそ、確かな支えを持つて生きてゆかれたと思っています。

その後、不当な処罰を受け仲間を殺される事態が起こり、流罪の生活を送られました。晩年には息子と絶縁する自体まで起きています。しかし、どのような環境になろうとも、変わらぬ願いに支えられて人生を歩まれました。

雪山俊隆

## 永代祠堂会

今年も昨年に引き続き、一日、七日、十六日、二十四日の計四座、地域分散型でおつとめしました。

初日の法話は住職が担当し、二日目は法輪寺の高島康彦さんでした。七日にしてすでに暑くなってきたため、冷房のある空華殿で行いましたが、機械の老朽化で冷気があまり出ずに参拝者にご負担をおかけしてしまいました。

三日目は八尾町勝福寺の藤島秀恵先生にお越しいただき、広間へ場所を移して行いました。

最終日は照行寺の神子巧さんより、阿弥陀如来の力を十二種類の光で讃えた「十二光」をテーマにお話いただきました。

永代祠堂会を振り返ると、七日からずっと暑かったことが伺えます。



寺  
ごよみ

十一月

- 一日 ほつこり法座
- 五日 空華忌
- 六日 中陣報恩講
- 一〇日 中陣報恩講
- 一二日 柝沢報恩講
- 一三日 柝沢報恩講
- 一四日 柝沢報恩講
- 一五日 柝沢報恩講
- 一六日 ほつこり法座
- 二〇日 出報恩講
- 二一日 浦山新報恩講
- 二二日 浦山新報恩講
- 二五日 浦山新報恩講
- 二六日 愛本新・中ノ口
- 二七日 浦山新報恩講
- 二八日 愛本新・中ノ口
- 三〇日 愛本新・中ノ口

寺  
ごよみ

十二月

- 一日 大橋報恩講
- 四日 愛本新・中ノ口
- 六日 下村報恩講
- 七日 下村報恩講
- 八日 下村報恩講



## いづも盆おどり

八月一三日

今年の春に行った花まつりが参加者も主催者側もコロナ明けをあらわすかのような心持ちで行えたため、盆おどりも不安

なく通常通りに行えました。昨年は厳しい状況の中、地元の高校生が「やろうよ！」と声をかけてくれたおかげで行うことが出来ましたが、今回も少数ながら若者のパワーによって準備やお店を担



## お盆参り

八月一六日

当してくれました。お寺はどの行事も熱意によって支えられています。

この一年で葬儀のあつ

た初盆にあたるご家庭と、納骨壇を対象にお参りしました。この日は本堂が二十八度で少し暑さがおさまっていたため、法話もそのまま本堂で行いました。



ほんこさまの準備  
・朱色のろうそく  
・お花  
・仏飯  
・お布施  
・年会費（一万二千元）  
親鸞聖人のご法事はお慶びの気持ちで赤いろうそくを立てます。

- 一〇日 下村報恩講
  - 一二日 下村報恩講
  - 一三日 下立愛本報恩講
  - 一四日 下立愛本報恩講
  - 一六日 ほつこり法座
  - 一七日 内山報恩講
  - 一九日 下立愛本報恩講
  - 二〇日 下立愛本報恩講
  - 二一日 内山報恩講
  - 二三日 音沢報恩講
- 一月一日  
〇時 除夜の鐘  
九時 年頭参り

# 報 恩 講

浄土真宗門徒にとって最も大切な親鸞聖人のご法事です。

十月十九日（木）

午前十時、午後一時半

十月二〇日（金）

午前十時、午後一時半

講師：日置宗明先生（三重）



※今年は地域指定日はありません。都合のよい日時にお参り下さい。

※おとき（昼食）はありません。

## しんらんさまに お花を一輪 お供えしましょう



### 空華忌

十一月五日（日）

午前十時半

午後一時

十一代僧銘の法要です。



門徒会館が外壁を修復中です。

11/1  
水

### お釈迦様の生涯

講師 雲林 重正 先生

浄西寺（新潟・長岡市）

「問い」と「答え」が揃ってはじめて強き生まれます。お釈迦様は何を「問い」として道を求めていかれたのか、お釈迦様の生涯を通じて仏教の出発点を得てみたいと思います。



10/16  
月

### お浄土とは

講師 細川 淳栄 先生

長源寺（富山市）

浄土真宗の救いとは、この世のいのち尽きたとき、浄土に生まれて仏と成ることです。では、今生を生きる私にとって浄土はどんな意味を持つのでしょうか。ともに考えてみましょう。



10/1  
日

### 他力 100%の救い

講師 巖寺 智顕 先生

法盛寺（魚津市）

浄土真宗は他力 100%の救いと言われます。いったいどういうことなのか。親鸞聖人の言葉を通して、新米布教使がお取次ぎさせていただきます。



### 合 掌

秋は報恩講がつとまります。年に一度のめでたい法要としてお祭り要素を考えていますが、今年は準備が間に合わず、来年こそは。

※ ※ ※

四年目になった納骨壇は毎年六〇七件のお申込みをいただき現在左図のような状況です。あと一〜二年で埋まる見込みですので、ご検討の方はご相談下さい。今年度から合同墓設置のための整備を行う予定です。

